

魅力と活力に満ちた愛媛の畜産をめざして

# 愛媛県農林水産研究所 畜産研究センター要覧

Ehime Research Institute of Agriculture, Forestry and Fisheries

Livestock Research Center



〒797-1211

愛媛県西予市野村町阿下7-156

Tel 0894-72-0064

Fax 0894-72-0065

E-mail [chikusan-cnt@pref.ehime.lg.jp](mailto:chikusan-cnt@pref.ehime.lg.jp)

URL <http://www.pref.ehime.jp/chikusan/index.html>

畜産研究センターでは、乳牛や肉牛、豚などの家畜を飼育しながら、美味しく安全な牛乳や肉を効率的に生産する技術、家畜のエサとなる牧草類の生産や利用技術、環境保全技術、さらには ICT やバイオテクノロジーなどの先端技術に関する研究を行っています。

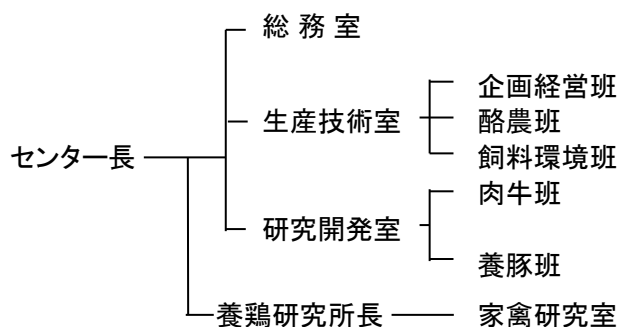
## 沿革

- 昭和 11 年 9 月 30 日 愛媛県立種畜場南予分場設立認可(東宇和郡野村町(現西予市))  
(本場、大正 10 年 9 月 30 日設立・旧庄内村(現西条市))
- 昭和 17 年 3 月 31 日 愛媛県立野村種畜場と改称独立総合種畜場となる。
- 昭和 31 年 4 月 1 日 集約酪農指導所を併設
- 昭和 32 年 7 月 5 日 愛媛県立種畜場と改称。酪農指導所(内子町)の設置に伴い、集約酪農指導所を廃止。家畜人工授精業務のメインセンターとして、種雄牛の集中管理を行うこととなる。
- 昭和 37 年 9 月 1 日 愛媛県畜産技術研修所を併設
- 昭和 48 年 4 月 1 日 愛媛県畜産試験場を設置。愛媛県立種畜場、愛媛県畜産技術研修所、愛媛県立酪農指導所を廃止統合。  
昭和 55 年までに畜産試験場としての畜舎、研究棟等の新設と用地の買収を行い、圃場の拡張など整備を図る。
- 平成 4 年 4 月 1 日 機構改革により効率的な試験研究体制(経営室、飼養技術室)をとる。
- 平成 20 年 4 月 1 日 農林水産関係試験場の統合により、農林水産研究所畜産研究センターとなる。養鶏試験場を養鶏研究所として内部組織に編入。

## 機構

職員数 (令和 5.4.1 現在)

- 畜産研究センター 27 名(事務職 3 名、技術職 13 名、業務員 9 名、再任用 2 名)
- 養鶏研究所 8 名(技術職 6 名、業務員 1 名、再任用 1 名)



また、研究の成果や新しい技術などがより早く普及するよう、研修会の開催や各種情報提供などの幅広い広報活動を行い、広く県民の方々に開かれた研究センターをめざしています。

## 土地

	ha
総面積	29.7
建物敷地	6.5
ほ場	19.2
放牧地	3.7
その他	0.3



## 家畜



畜種	品種	飼養頭数
乳用牛	ホルスタイン種	48
肉用牛	黒毛和種	129
豚	ランドレース種	3
	大ヨークシャー種	2
	中ヨークシャー種	34
	デュロック種	2
	交雑種	7
	試験豚(肥育豚)	163
	育成豚	16

令和5.4.1現在

## 業務内容

- 1 家畜の育種、繁殖、飼養管理の試験研究・調査
- 2 草地、飼料及び飼料作物の試験研究・調査
- 3 乳用牛、肉用牛及び豚の能力検定
- 4 環境保全に関する試験研究・調査
- 5 その他、畜産経営の改善に関する試験研究・調査
- 6 各試験研究機関との共同研究
- 7 農業大学校畜産分校



## 試験研究の概要



飼料作物の収穫(ラップサイレージ)

### 飼料環境班

温暖化による気温上昇に対応したとうもろこしの二期作栽培等の自給飼料作物の増産技術、飼料作物や食品残さのサイレージ調製による保存技術の研究等をしています。また、家畜ふん尿の処理技術や周辺環境の保全のための研究の他、農家が生産・調製した自給飼料の分析等も行っています。

### 酪農班

県内で発生する食品残さの飼料化や給与飼料を混合したTMR(混合飼料)技術の研究に取り組むとともに、省力化のための ICT 技術や搾乳ロボットの普及に関する研究等も行っています。また、乳牛の改良を推進するため、個体ごとのデータ収集と分析方法の指導を行っています。



TMR ミキサー(飼料混合機)



愛媛あかね和牛の繁殖雌牛と子牛

### 肉牛班

県内肉牛の生産拡大のため、愛媛あかね和牛の繁殖雌牛や受精卵を県内農家へ供給しています。また、コスト低減のための短期肥育技術や給与飼料に関する研究に取り組んでいます。また、受精卵の有効活用等のバイテク関係の研究にも取り組んでいます。

### 養豚班

愛媛甘とろ豚の種豚(愛媛系中ヨークシャー種)の育種及び生産者への供給を行うほか、専用飼料の改良や品質の安定を図るための肉質分析、飼養管理技術の開発を行っています。また、中ヨークシャー種の遺伝資源保存のための受精卵移植技術の活用にも取り組んでいます。



中ヨークシャー種種雄豚

## 研修・広報

当センターの研究成果や新技術の普及を図るため、生産者や技術者を対象とした研修・普及活動を行っています。また、県民の皆さんに当センターの試験研究や、畜産に関する正しい知識・情報を提供するための広報・交流活動を行っています。

当センターは農業大学校畜産分校として畜産関連産業に従事しようとする学生の指導を行うとともに農業高校の生徒を対象とした教育活動も行っています。



飼料稲収穫の現地研修会



農業高校(学校農業クラブ)家畜審査競技会



一日体験学習(乳搾り体験)



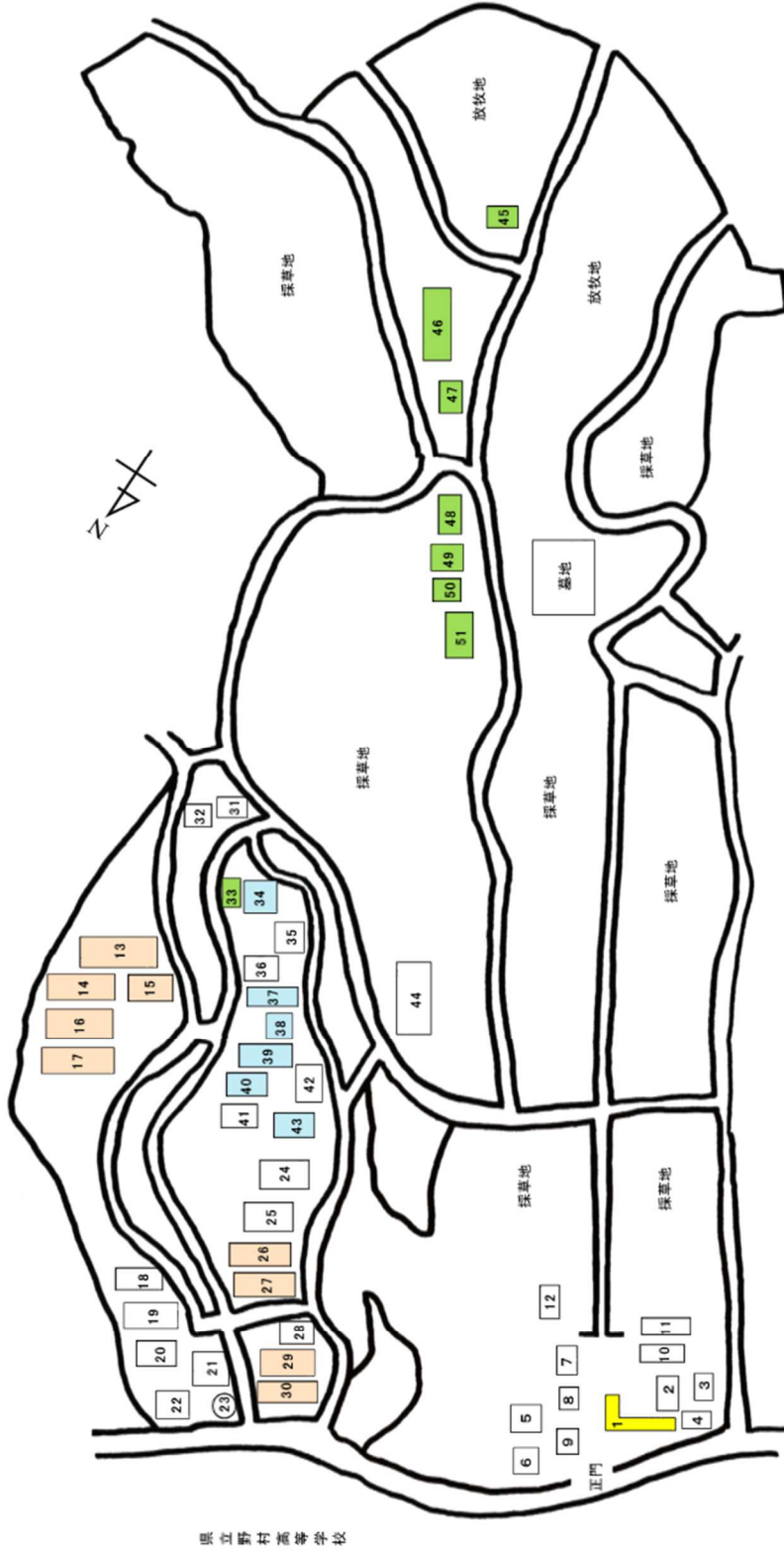
四国カルストでの除草指導



農業大学校畜産分校としての教育活動

配置図

畜産研究センター案内図



原立野村高等学校

市立野村中学校

番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称
1	本庁舎	10	農機具倉庫	19	旧第2検定豚舎	28	農業大学校環境教室	37	乳牛検定牛舎	46	肥育牛舎
2	試験検査棟	11	農業大学校寮	20	旧種雄豚舎	29	第1雌検定豚舎	38	牛乳検査室	47	飼料倉庫
3	飼養技術研究室	12	種雄豚舎	21	旧飼面ハウス豚舎	30	第2雌検定豚舎	39	乳牛試験牛舎	48	育成牛舎
4	機械室	13	種雌豚舎	22	旧屠体検査場	31	旧和牛舎	40	乳牛哺育育成舎	49	子牛牛舎
5	講堂	14	分娩豚舎	23	焼却炉	32	旧繁殖モザル牛舎	41	収納舎	50	肉質検査室
6	増長公舎	15	妊娠豚舎	24	旧育成豚舎	33	簡易肥育牛舎	42	ハウス哺育牛舎	51	繁殖牛舎
7	農機具庫	16	子豚育成豚舎	25	旧肥育豚舎	34	TMR調製施設	43	育成牛運動場		
8	飼料料庫	17	育成豚舎	26	第1雄検定豚舎	35	衛生舎	44	堆肥舎		
9	車庫	18	旧第1検定豚舎	27	第2雄検定豚舎	36	サイロ	45	放牧場管理牛舎		

## 令和5年度の試験研究課題(畜産研究センター)

### ○飼養技術開発・低コスト生産

銘柄豚収益向上技術開発試験	[令 5~7]
とうもろこし有機肥料利用技術確立試験	[令 5~7]
牛受精卵効率的生産技術確立試験	[令 4~6]
えひめ型酪農技術体系確立事業	[令 4~5]
低コスト TMR 飼料調製技術確立試験	[令 3~5]
サトイモ生産スマート化研究開発事業(飼料化)	[令 3~5]
飼料害虫ツマジロクサヨトウの防除対策事業	[令 3~5]
家畜生体情報高度利用技術確立事業(ICT)	[令 2~5]

### ○銘柄畜産物の開発

- 豚改良増殖対策事業(愛媛甘とろ豚改良、種畜供給)
- 肉用牛改良増殖対策事業(愛媛あかね和牛改良、種畜供給)

### ○調査指導事業

- 乳用牛改良増殖対策事業(牛群検定)
- 農家繋養牛の受精卵の採取処理に関する試験
- 草地飼料作関係除草剤・生育調節剤試験
- 四国カルスト牧場指導事業
- 自給飼料分析事業

## アクセス図

